

1. 次の文を読んで中国文にほんやくしてください。(翻訳)。(60/100 分)

国際法と国内法との関係については、いわゆる国際法学において以前から多くの議論を議論がなされてきたが、「国際法が保護し、私人の権利義務を規定し各々の国内法制や国内生活とから各事項をも規律するようになるには、同一の主題に因りて国際法と国内法が同時に作用する共通分野が發生し、両法の内容上の競合、抵触をめぐってどちらが優先して適用されるべきか、その法的な関係づけが争われる」ことに在り、この問題は、「今日では、一元論、二元論等の學說対立の毛果を超えて現実の問題となつて」きていふことの認識が示されてゐる。

このような認識は租税協定の分野についても妥當するであろう。すなわち、租税協定は主として國際的ニ重課税の排除を目的として締約国間の課税権の配分について規定するものであるが、同時に國內的には納税者の実体的・手続的権利義務に関わる事項を定めるものでもある。このうち事項は租税法主義(課税要件法定主義)のもとでは本来は法律事項であるから、租税協定と国内法との間の競合、抵触の問題に在るのである。ただ、協定と国内法との関係は、それぞれ法の目的、性格、関連する国民の権利義務の種類、性質等の違いによつて、個々の法領域ごとに異なると考えられるので、租税協定と国内法との関係を明らかにするためには、協定と国内法との関係に関する一般理論をも考慮に入れながら、税法における特殊性を究明することが必要に在るであろう。このうち作業を租税協定と課税に関する法制度について行うのが主たる課題である。

2. 作文。(40/100 分)

日本文で書いてください。(中文作答, 並非翻譯)

「あなた履歴表のべで、貴座状況をよく書くこと。それとあなたの生涯規劃と人生に対する人生観をものべること。」